



特徴

- ・ ジッター減衰器内蔵ユニバーサル周波数変換器(UFT™)
- ・ 実績のあるシンクロナスイーサネットラインカード向け同期
- ・ FECレート変換を含むSONET/SDHクロックをサポート
- ・ 最大3つのフラクショナル出力分周器(FOD)での4つの独立したプログラマブル出力
- ・ 12 kHz ~ 20 MHzの範囲で、標準RMS位相ジッター350 fs(スプリアス含む)
- ・ LVPECL、LVDS、LVHSTL、LVCMOS、HCSLの入力クロックに対応
- ・ 入力周波数: 8 kHz ~ 875 MHz
- ・ 出力周波数: 8 kHz ~ 1.0 GHz
- ・ 小型40ピンVFQFPNパッケージ
- ・ Timing Commanderにより使用が容易
- ・ 動作温度: -40 ~ 85°C

対象アプリケーション

- ・ マルチボードシステムのシンクロナスイーサネットラインカードに最適
- ・ OTNやSONET/SDH機器のラインカード
- ・ OTNデマッピング(ギャップクロックおよびDCOモード)
- ・ ギガビットおよびテラビットのIPスイッチ/ルーター
- ・ 無線局のベースバンド処理
- ・ 動画配信
- ・ データ通信

複雑なクロックツリーをシンプルに

ユニバーサル周波数変換器(UFT)タイミングデバイス8T49N241/242は、あらゆる入力周波数を使用して、あらゆる出力周波数を選択できる最大4つの独立したプログラマブルクロック出力を提供します。基板面積を抑える小型の40ピンVFQFPNパッケージで提供することこのデバイスは、10G PHYや100Gまでのインタフェースに直接使用できる確実で堅牢なジッター性能を実現します。冗長性管理、ジッター減衰、あらゆるループ帯域幅設定における一貫した位相ノイズ性能を提供します。

IDTの技術によって非常に柔軟な周波数の設計が可能で、例えば、あらゆる周波数を関連性の無い出力周波数に変換することで、エンジニアが複雑なクロックツリーを簡素化することに役立ちます。これらの柔軟性と優れたプログラマビリティにより、開発工数を削減しながら多くの異なるクロックツリーで使用できる、電力効率の良いUFTデバイスとなっています。IDTのTiming Commanderソフトウェアツールは、デバイスの迅速かつ簡単な設定を可能にします。

型番	機能
8T49N241	2入力、4出力のシングルPLL UFT 最大4つの周波数ドメイン(1整数型および3分数型出力分周器)
8T49N242	2入力、4出力のシングルPLL UFT 最大4つの周波数ドメイン(4整数型出力分周器)

IDTのUFT製品の詳細については
visit: idt.com/go/UFT をご参照ください